

新型コロナウイルス感染が疑われる患者に対する医療機関の対応フロー

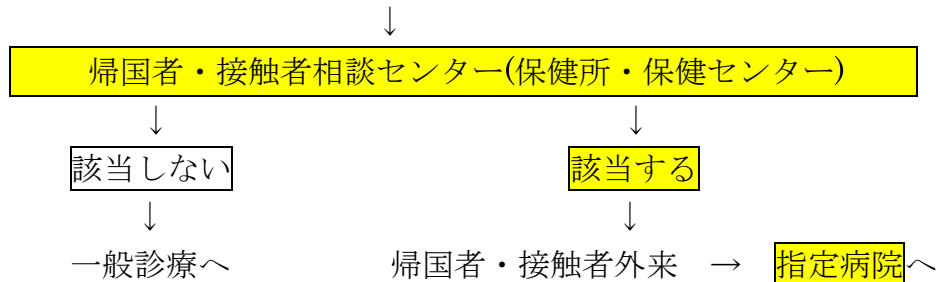
コールセンターor 医療機関に電話相談があった場合

37.5 度以上の発熱、咳などの急性呼吸器症状

イ 強いだるさ・息苦しさ すぐに

ロ 重症化リスクの高い高齢者・持病のある人・妊婦は 2 日程度続く場合

ハ 一般の人は 4 日以上続く場合



医療機関を直接受診した場合

上記と同様の症状がある患者が医療機関を直接受診した場合

受付で新型コロナウイルスが疑われる患者は、サージカルマスクを着用させて、待合室ではなく、自家用車 or 隔離室等で待機させる。

携帯電話等で問診を行う。

↓

問診で新型コロナウイルスの「疑似症」、「濃厚接触者」「その他の接触者」に該当するかどうか確認

↓

該当しない

↓

マスク等、感染予防策
を実施した上で診察
自宅経過観察

↓

該当する

↓

帰国者・接触者相談センター
疑わしい場合

↓

帰国者・接触者外来～指定病院へ搬送

患者が接触した部位表面の消毒。接触者のリストを作成する。ビル診療所の場合にはエレベーターの使用は避ける。高層階の場合は感染対策を充分行い消毒。